

A4チラシを生成AIで作ってみる

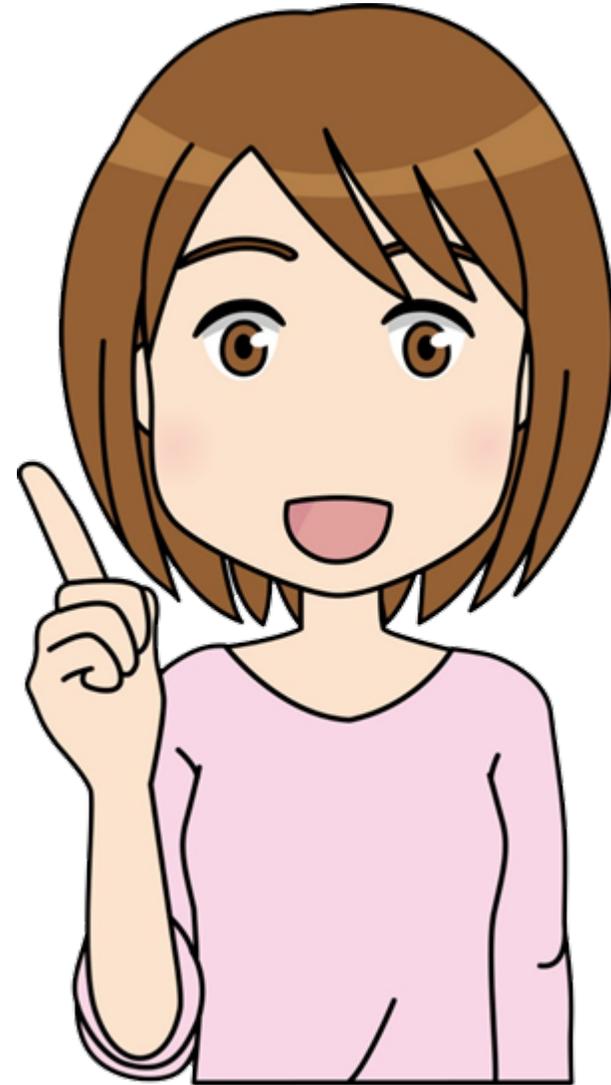
A4サイズのチラシを作成してみましよう！

印刷物も扱えることをアピールするためにフライヤー（チラシ）を作成してみましよう。

じっくり作成しても良いですが・・・生成AIを利用してみてはいかがでしょう？

A4チラシを生成AIで作る方法は、大きく分けて以下のステップになります。

AIを効果的に活用することで、デザインの知識がなくても魅力的なチラシを作成できます。



1. チラシの目的とターゲットを明確にする:

まず、誰に何を伝えたいのかを明確にすることが重要です。
目的とターゲットによって、デザインや文言、使用する画像などが変わってきます。

目的: イベント告知、商品PR、サービス紹介など
ターゲット: 年齢層、性別、興味関心など

2. チラシの構成要素を決める:

チラシに掲載する情報を整理します。

キャッチコピー: ターゲットに響く魅力的な言葉
本文: 伝えたい内容を簡潔に記述
画像/イラスト: チラシの印象を大きく左右する重要な要素
ロゴ/店舗情報: 連絡先、住所、ウェブサイトなど
QRコード: ウェブサイトやSNSへの誘導

3. AIツールを活用した素材作成:

ここからAIツールを本格的に活用していきます。

キャッチコピー/本文の作成 (ChatGPTなど): チラシの目的やターゲット、伝えたい内容をAIに伝えれば、キャッチコピーや本文の草案を生成してくれます。複数の候補を生成させて、良いものを選ぶと効率的です。
画像/イラストの生成 (Stable Diffusion「ステーブル ディフュージョン」、Midjourney「ミッドジャーニー」など):
チラシのテーマやイメージをAIに伝えれば、画像を生成してくれます。
具体的な指示 (例: 「夏らしい爽やかな風景」、「子供向けの可愛いイラスト」) を与えることで、イメージに近い画像を生成できます。
背景画像の生成: テクスチャやパターンなどの背景素材もAIで生成できます。

4. デザインツールでレイアウト:

Canva、Adobe Expressなどのデザインツールを使って、生成した素材を配置してレイアウトを作成します。

Canva: 豊富なテンプレートがあり、ドラッグ&ドロップで簡単に操作できます。AI機能も搭載されており、デザインの提案を受けることができます。

Adobe Express: Adobe社が提供するオンラインデザインツール。テンプレートや素材が豊富で、初心者でも使いやすいインターフェースです。

※Illustrator (有料) をお持ちの方はもちろん使ってみてください。

レイアウトのポイント:

視線の流れ: 人の視線は左上から右下へ流れる傾向があります。重要な情報を効果的に配置しましょう。

余白: 適度な余白を設けることで、見やすく整理された印象になります。

フォント: チラシのテーマに合ったフォントを選び、文字の大きさや太さを調整して見やすくします。

配色: チラシのイメージに合った配色を選びます。コントラストを意識することで、視認性を高めることができます。

5. 仕上げと確認:

プレビュー: 完成したチラシを印刷前にプレビューし、誤字脱字やレイアウトの崩れがないか確認します。

修正: 必要に応じて修正を行います。

AI活用における注意点:

著作権: 生成された画像や文章の著作権には注意が必要です。商用利用可能なAIツールを選び、利用規約をよく確認しましょう。

AI生成物の修正: AIが生成した画像や文章は、そのまま使うのではなく、必要に応じて修正や加筆を行うことで、クオリティを高めることができます。

情報の正確性: 特に本文は、AIが生成したものを鵜呑みにせず、事実に基づいているか確認することが重要です。

まとめ

AI活用ポイントを見極めましょう！

ChatGPTなど文章作成の生成AIでキャッチコピーや本文の草案を生成。

MidjourneyなどPhotoshopなどで例えば「夏の音楽フェス、夕焼けのステージ、観客の熱狂」などのプロンプトで画像を生成。

Canvaやillustratorでレイアウト: 生成した画像やテキストを配置し、テンプレートなどを活用してデザインを仕上げる。

これらのステップを踏むことで、AIを活用しながら、効率的に魅力的なA4チラシを作成できます。ぜひ試してみてください。

